

参加チーム 各位

2019年8月21日
(一社)大阪府サッカー協会
フットサル委員会

JFA 第25回全日本フットサル選手権大会 大阪大会

大会実施要項

記

大会名称	JFA 第25回全日本フットサル選手権大会 大阪大会
日 程	予選グループリーグ : 9月16日(月) 22日(日) 23日(月) 1次グループリーグ : 10月12日(土) 14日(月) 22日(火) 26日(土) 決勝トーナメント : 11月24日(日) 30日(土) 12月1日(日) 7日(土)
会 場	予選グループリーグ : マグフットサルスタジアム、大阪市立千島体育館 大阪市立東淀川体育館 1次グループリーグ : 堺市原池公園体育館、大阪市立東淀川体育館 大阪市立千島体育館 決勝トーナメント : 高槻市古曽部防災公園体育館、大阪市立千島体育館 大阪市立東淀川体育館、岸和田市総合体育館
主 催	公益財団法人 日本サッカー協会
主 管	一般社団法人 大阪府サッカー協会 フットサル委員会
協 力	一般財団法人 日本フットサル連盟 大阪府フットサル連盟
参加資格	(1) 公益財団法人日本サッカー協会(以下、「JFA」とする。)に「フットサル1種」または「フットサル2種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。 。 JFAに承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。 (2) 第1項のチームに所属する2004年4月1日以前に生まれた選手であること。 男女の性別は問わない。 (3) 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。 (4) 都道府県大会、地域大会を通して、選手、役員は他のチームで参加していないこと。 (5) 成人で、チームおよびチーム関係者の行動を掌握できる、引率者がいること。 (6) チームまたは個人でスポーツ傷害保険に加入していること。

参加チーム数
大会形式

41 チーム

- (1) グループリーグ（以下、GL）：シードチーム4チーム（昨年度成績上位チーム）を除く参加37チームを抽選にて3チームずつ10グループに分けて1次GLを戦い、1次GL前に12チームにて予選GL戦を行う。ただし、次の条件を満たす10チームについては、1次GLから参加とする。
- ① 前年度ベスト8の4チーム
 - ② 代表者会議時点の関西、大阪府リーグの上位から、①+②=10チーム目まで
- (2) 予選GL1位の3チームと、2位の成績上位2チームの計5チームが1次GLへ、1次GL各グループ1位の10チームが決勝トーナメントへ進出する。勝ち点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝ち点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
- ① 当該チーム内の対戦成績
 - ② 当該チーム内の得失点差
 - ③ 当該チーム内の総得点数
 - ④ グループ内の総得失点差
 - ⑤ グループ内の総得点数
 - ⑥ 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム
 - (ア) 警告1回 1ポイント
 - (イ) 警告2回による退場1回 3ポイント
 - (ウ) 退場1回 3ポイント
 - (エ) 警告1回に続く退場 4ポイント
 - ⑦ 抽選
- (3) 決勝トーナメント：1次GL各グループ1位の10チームに、シードされた4チームを加えた14チームによるノックアウト方式で行う。

競技規則

大会実施年度の「フットサル競技規則」による。

競技会規定

- (1) 競技者の数…競技者：5名
交代要員：予選GL・1次GL…7名以内
決勝トーナメント…9名以内
ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数…2名以内
- (2) ベンチ入りできるチーム役員の数…3名以内
- (3) 競技者の用具
- ① ユニフォーム
 - (ア) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)を大会登録票に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。また、ゴールキーパーがトラウザーズを着用する場合、登録されたショーツと同一の色彩でなければならない。
 - (イ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が着用する黒色と明確に判別しうるものでなければならない(黒色・紺色は認められない)。
 - (ウ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
 - (エ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。

ない。

(オ) 選手番号は1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーがつけることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。

(カ) ユニフォームへの広告表示については、JFAの承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。

(キ) その他、ユニフォームに関する事項については、JFAのユニフォーム規程(2017年4月13日改正)に則る。

② 靴

キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。

(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)

③ ビブス

交代要員は、自チームの競技者のシャツと異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。また、広告の付いたビブスの着用は認めない。

試合時間

[予選、1次グループリーグ]

30分間(前後半各15分間)のプレーイングタイムとし、
ハーフタイムのインターバルは5分間(前半終了から後半開始まで)とする。

[決勝トーナメント]

40分間(前後半各20分間)のプレーイングタイムとし、
ハーフタイムのインターバルは10分間(前半終了から後半開始まで)とする。

勝者の決定

試合時間内に勝敗が決しなかった場合、試合の勝者は以下の方法で決定する。

[予選、1次グループリーグ]

引分け

[決勝トーナメント1回戦、準々決勝]

PK方式により勝敗を決定する。PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

[準決勝、決勝]

10分間(前後半各5分間)の延長戦を行い、決しない場合はPK方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分間とし、延長戦のハーフタイムは無しとする。PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

懲罰

- (1) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。それ以後の処置については、本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (2) 本大会において退席を命じられた役員は、自動的に本大会の次の1試合にベンチ入りできない。それ以後の処置については、本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (3) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。(各GLで受けた警告は、次のGLまたは決勝トーナメントには持ち越さない。但し、GL最終試合で2回目の警告を受けた場合、次のGLまたは決勝トーナメント1試合目には出場できない。)
- (4) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。

- (5) 片方のチームが試合開始時に3人未満の場合は、0-3の不戦敗とする。
- (6) 試合途中で片方のチームが3人未満になった場合や、その他の理由で試合が打ち切りとなった場合は0-3、もしくは打ち切りとなった時点で0-3以上の点差がついていた場合はその結果とする。

注意事項

- (1) 決勝戦を除く各日程、第1試合のチームは、8時45分までに会場に到着し会場準備を行うこと。また、(準決勝・決勝戦を除く)最終試合のチームは会場撤収を行うこと
 - ①9/16 マグフットサルスタジアム開催時は第1試合のチームは9時50分集合
 - ②9/22 千島開催時は設営不要
 - ③11/24 高槻開催時は第1試合のチームは8時30分集合
- (2) キックオフ予定時刻の60分前、(各会場の第1試合は45分前)に、大会運営本部または大会運営委員会指定の場所でマッチコーディネーションズミーティング(以下、MCM)を行う。その際、①選手証、②試合毎のメンバー登録用紙(ユニフォーム欄のみ空白)、③正副のユニフォーム(FP、GK2セットずつ、合計4種類)を持参すること。
- (3) ユニフォームに広告を掲示している場合は、JFAから発行された回答書および申請書を携帯すること。
- (4) ユニフォームに貼り番号をする場合は、キックオフまでに大会運営本部で確認をとること。番号は整数の1から99を使用し、0は認めない。布貼りの場合は4辺を全て縫い付け、白またはユニフォームと同色の台地を付ける。大会本部で許可を得たもののみ認められる。テーピング等での番号表記は認められない。
- (5) 別紙スケジュールに従い、GLにおいて帯同審判員1名とボールパーソン2名を両チームより派遣すること。決勝トーナメント以降は記録員1名を両チームより、準々決勝、準決勝は記録員1名とボールパーソン2名を派遣すること。審判員は原則ユース審判員は認められない。また、帯同審判員の所属は必ず大阪府でなければならない。※1人の審判員を複数チームが帯同審判員として登録することは認められない。帯同審判員割当は、対戦表の左側のチームが第3審判、右側のチームがタイムキーパーとする。審判員証[電子登録証も可]を必ず持参すること。
- (6) 試合中に飲めるのは水のみとする。その他の飲料はフロア近辺に持ち込まないこと(観客席に置いておくこと)。飲水場所は体育館の使用規定に従うこと。水以外の飲み物を飲水場所に持ち込んだチームについては、それまでの戦績を没収し、棄権の取り扱いとする。また、次年度の本大会の参加を認めない。
- (7) ベンチ入りする役員は、MCM終了後からキックオフ予定時刻の15分前までに、運営本部にてADカードを受け取り、試合中は常にADカードを提示していなければならない。ADカードは試合終了後、速やかに運営本部へ返却すること。
- (8) 試合前のエキップメントチェックに遅れた交代要員は前半はベンチ入りすることができないが、ハーフタイムに審判員の確認を受ければ、後半からベンチに入ることができる。ただし、ハーフタイム終了の合図までに間に合わなかった場合には、後半もベンチ入りすることは認められない。
- (9) 試合中はチーム関係者によるフロアでの写真および映像の撮影を認めない。
- (10) 12月7日岸和田市総合体育館での決勝戦開催については、決勝進出の2チームは試合後に会場にて撤収作業を行う。タイムスケジュールなど詳細については準決勝当日に該当チームに通知する。
- (11) クラブ申請している1種登録チームが、同一クラブ内の2種登録チーム所属選手を登録する場合を除き、選手証に記載されている所属チームと出場する参

加チームは同一でなければならない。

- (1 2) ベンチでの氷のう袋の使用を認める。ただし、ビニール袋など水滴が周りに漏れるものは、飲水場所での使用のみとする。また、その使用により床やシートを濡らした場合は会場のモップを使用せず自チームで用意したタオル等で拭き取ること。
- (1 3) 当日提出するメンバー表は大会ホームページよりダウンロードを行い、各チームで持参して MCM にて提出すること。
- (1 4) ゴミは各チームで必ず持ち帰ること、また体育館の使用規定に従うこと。

その他

- (1) 準決勝に進出した 4 チームは、関西大会（2020 年 1 月 4 日（土）：岸和田市総合体育館、1 月 5 日（日）：堺市原池公園体育館、1 月 19 日（日）：大阪市立千島体育館）に出場する権利と義務を有する。優勝から順に第 1 代表とし、3 位決定戦は行わず、優勝チームに準決勝で敗退したチームを第 3 代表、準優勝チームに準決勝で敗退したチームを第 4 代表とする。
- (2) 優勝チームと準優勝チームを表彰する。
- (3) 準決勝進出の 4 チームを次年度シードとし、次年度本大会の決勝トーナメントから出場の権利を有する。
- (4) なお、決勝トーナメントに進出したチーム（10 チーム）および決勝トーナメントで勝利したチームについては、試合当日、試合毎に 5,000 円徴収する。予選 GL を勝ち上がったチームについては、1 次 GL にて 3,000 円を追加徴収する。
- (5) 代表者会議以降の大会登録票の選手や役員の追加および変更は関西大会終了まで原則認めない。

お問合せ先

- (一社)大阪府サッカー協会 フットサル委員会大会事務局
メールアドレス：jimu@ofa-futsal.jp
※各種問い合わせはメールにてのみ受け付ける。